

立会川緑道サクラ再生実行計画 第一回検討会ニュースレター

目黒区内の公園・緑道・道路緑地等には約 2,300 本の桜がありますが、老齢化などにより、保全・更新の取組みが必要となっていることから、目黒区では平成 27 年度から目黒のサクラ保全事業を行っています。今年度は、立会川緑道のサクラの再生実行計画を作成するため、平成 30 年 8 月 30 日（木）に原町住区センターで第一回検討会を開催しました。

目黒のサクラ保全事業の流れ

樹木診断

樹木医による樹木診断を行い、現状の桜をとりまく問題点等を確認します。

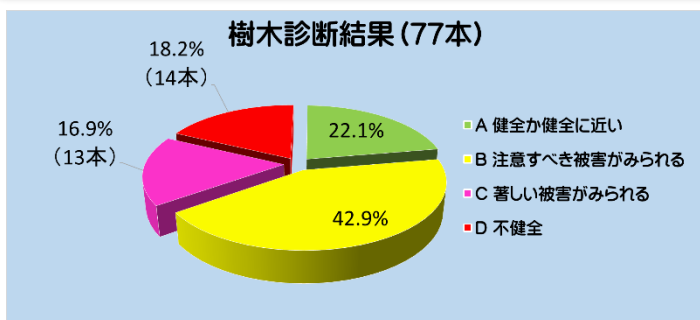
再生計画作成

桜並木の将来像を検討、将来像実現に向けた今後の取り組み方を考えます。

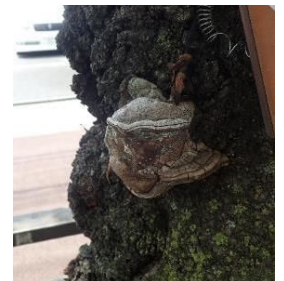
保全・更新

危険木の更新(伐採・植替え)を行いながら、再生計画を基に保全を行います。

立会川緑道の桜の現状



樹勢が弱り樹形が崩れた桜

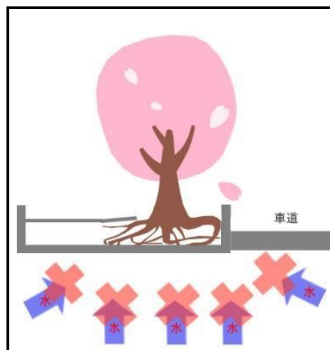


樹木を腐らせるきのこの発生

全体的に生育があまり良くなく、樹勢が低下した桜が見られます。樹木の腐朽により倒木・枝折れ等の危険があり、何らかの措置が必要な桜も全体の 35.1% (27 本) 見られました。その内 15 本は既に伐採を行っています。

桜の課題

- ・ 植栽基盤の不足
(土壌が少なく乾燥しやすい)
- ・ 桜の老齢化
- ・ 腐朽菌による材の腐朽・空洞の発生
- ・ 危険木の植え替えが必要



立会川緑道は立会川にコンクリートの蓋をし、その上に盛土をして造られた人工地盤(ビルの屋上緑化と同じ地盤で、大きな植木鉢のような構造)です。このため、土壌が固まり易く、乾燥し易い土壌となっています。また根の生育範囲も狭い状況といえます

今後の方向性

- ・ 保全対策の検討
土壌改良、施肥、剪定、水やり等の方法を検討
- ・ 更新方法の検討
危険木の伐採
小型の品種や多様な品種での植え替えの検討
樹木の配置方法の検討

第一回検討会の主な意見

- ・ 桜の花を毎年楽しみにしているが、問題があるのは予想はできた。再生には、時間と労力がかかるだろう。
- ・ ソメイヨシノを生かしつつ他の品種を検討したい。
- ・ 伐採後、植替えすると聞いて安心した。
- ・ 木の間隔が狭すぎるのでは。

○目黒のサクラ基金にご協力をお願いします
サクラ基金はふるさと目黒の桜のある風景を後世に伝えるための基金です。公園等の桜の保護・植替えなどに活用しています。詳しくは目黒区ホームページをご覧くださいか、みどりと公園課までお問い合わせください
<http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/zaisei/kifu/kikin/sakurakikin.html>

